



1 月度座談会御書

三沢抄

***地区



背景と大意

- 建治四年二月 五十七歳御作
- 於：身延 与三沢殿
- 別名：佐前佐後抄
- 既に**熱原**の門下に**迫害**が強まる
- **大難**にも**退せぬ心**で闘い抜け
- 佐渡以後に**真実**の**大法**を明かす



太陽の仏法

正法・像法の法門
論師人師の法門

世界を照らす太陽
南無妙法蓮華經

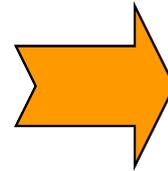
大聖人の法が顕れ
他の思想・宗教は力を失う



一閻浮提に流布

- ・末法は無明の闇の時代
- ・正法像法の法門では力は無い

大聖人は大難を
勝ち越える人生



偉大な功力
の証明

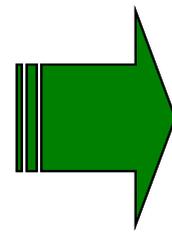
仏法は必ず全世界に流布



法門にちぎり有る人

- 仏法に縁した**深き宿縁**
- **地涌の誓い**こそ我が使命
- 行動の原点は**師弟のちぎり**

広布の陣列
広布に生きる



功德の人生
成仏の軌道



指導から

- 大聖人の仏法は**太陽の仏法**
- 闇が深い時代こそ**力強い**
宗教が不可欠となる
- **太陽の仏法の功徳**を全世界に

地域・社会・人生で
勝利の旗・**希望**の光りを